



# うま やかた てん き せん 馬の館の伝馬船

☆都井岬四季報通信☆

都井岬ビジターセンター・企画編集

2011年 8月発行 Vol.17

電話・FAX:0987-76-1546

宮崎県串間市大字大納 42-1

月曜休館日 開館時間 9:00~17:15

## 魅力探訪

暑いときは休憩

日陰の少ない都井岬の草原。真夏の昼間に、ここで長く活動するのは大変です。岬馬たちも無理はせず、風の通る尾根筋で休憩をしたり、森の沢で水を飲んだりして休みます。もしも、夏の日中の都井岬で、馬の姿を見かけない時は尾根や森の中で休んでいるのかもしれませんが。皆さんも熱中症には十分に気を付けて下さい。朝や夕方の涼しい時間帯になれば、馬たちの行動も活発になり、出会える可能性大です。



## 咲いた咲いた

季節の動植物

ノヒメユリ

今月は野姫百合を紹介します。都井岬ではヒオウギが咲く頃、同じ燈色のノヒメユリがひっそりと咲いています。日本で一番小さい百合の仲間、その花は直径2~3cmほど。とても愛らしくて、素敵なお花です。おかしは身近に見られた植物ですが、現在は絶滅危惧種となっています。こんな花が普通に咲いている都井岬は、本当に素晴らしい場所ですね。



## 野

生馬の岬で

働いている地元スタッフが旬の話題をお届けします☆  
四季彩々の表情をもつ岬を身近な目線からお伝えする  
都井岬四季報です

## 馬なり日々の

スタッフコラム

伝染病の脅威

小さな岬に、大きな衝撃がはしりました。岬馬がウマ伝染性貧血という病気に感染したことが判明したからです。この病気は空気感染をしないため、人間は都井岬へ出入りしても、まったく問題ないそうです。感染力も弱いので、感染が確認されたのは全体の1割程度の馬たちでした。残念ながら、この病気に治療法は無いそうです。感染をすると、貧血を伴う発熱から、徐々に衰弱してしまいます。他の馬たちを守る為、感染した馬たちは、泣く泣く殺処分することとなってしまいました。宮崎県は、口蹄疫、鳥インフルエンザ、そして今回の伝貧と、動物の病気がどうして続くのでしょうか。残された岬馬は、わずか85頭です。この馬たちが、また元気な子馬を産んでくれることを願っています。

## 館の掲示板

~ビジターセンター便り~

8月26日・27日、岬の夏をしめくくる祭り、都井岬祭りが開催されます。その昔、悪い大蛇を火攻めにして退治したという伝承が由来です。

今年はこの伝承をミュージカルにして、地元の団体が劇を披露する予定です。夏の夜に、美しい松明が飛び交う光景は、とても幻想的な空間です。

ビジターセンターも、開館時間を6時半まで延長してお待ちしております。ぜひお越し下さい☆

お問合せ：0987-72-0053（くしま活性化委員会）

